

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 静甲株式会社
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(氏名) 鈴木 恵子
 (氏名) 中村 元保

上場取引所 JQ
 TEL 054-366-1106

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,138	—	△90	—	△61	—	59	—
20年3月期第1四半期	4,708	△2.4	△99	—	△75	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	11.42	—
20年3月期第1四半期	△4.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	17,757	13,183	61.7	2,086.21
20年3月期	18,360	13,270	60.0	2,097.24

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,952百万円 20年3月期 11,010百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,400	—	40	—	70	—	130	—	24.76
通期	24,900	△3.7	420	3.5	470	△0.0	300	41.3	57.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 5,250,000株	20年3月期 5,250,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 1株	20年3月期 1株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 5,250,000株	20年3月期第1四半期 5,250,000株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、実際の業績は様々な要素により異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題の深刻化による米国経済の減速や、原油および原材料価格の高騰などにより景気の減速傾向が鮮明になり、景気の先行きに不透明感が強まりました。なお、当社グループでは、車両関係事業において9月、3月といった新車需要期に売上が集中する傾向があるため、例年、第1四半期の連結実績は損益面で厳しい状況にあります。

当第1四半期は、産業機械事業の売上は伸び悩みましたが、冷間鍛造事業では電動工具部品が堅調で前年同期を上回る実績となりました。電機機器事業では、F A 関連機器の販売は減速傾向でありましたが、設備機器の売上が増加いたしました。また、車両関係事業では、スバル新車販売台数は前年同期に比べ微増でありましたが、販売単価の大きい登録車の販売が増加したことなどにより、前年同期の売上高を上回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は51億3千8百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

一方、産業機械事業において、厳しい価格競争による受注価格の低下や材料価格高騰に加えて、たな卸資産健全化の観点から仕掛品の評価損を売上原価に計上した影響から収益が低下したため、利益面での改善は小幅にとどまり、営業損失は9千万円（前年同期は9千9百万円の損失）、経常損失は6千1百万円（前年同期は7千5百万円の損失）となりました。

四半期純損益は、投資有価証券売却益1億9千8百万円を特別利益として計上したことにより、5千9百万円の四半期純利益（前年同期は2千5百万円の損失）となりました。

〔産業機械事業〕

産業機械事業の包装機械では、景気の先行き不透明感や原材料価格の高騰によるコスト上昇などから設備投資に対して慎重な顧客も多く、計画の延期や中止が発生したことから、売上高は低調であった前年同期を上回ったものの伸び悩み、5億2千万円（前年同期比5.2%増）となりました。

〔冷間鍛造事業〕

冷間鍛造事業では、納入先の好調な輸出に支えられ受注を伸ばしてきた電動工具部品で、一部納入先の生産調整による影響から、今期に入り受注に落ち着きが見られましたが、売上高は前年同期を上回る実績となり、加えて、自動車部品も前年同期を上回ったことから、売上高は5億6千4百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

〔電機機器事業〕

電機機器事業では、F A 関連機器の販売はエンドユーザーである県内製造業向けの販売が減少し、販売店への売上も伸び悩んだことから減速傾向でありましたが、設備機器販売において大型ガスタービン発電設備を売り上げたことにより、売上高は10億3千8百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

〔車両関係事業〕

車両関係事業では、スバル新車販売部門で、販売台数合計は微増にとどまりましたが、軽自動車販売の割合が減少し、販売単価の大きい登録車が増加したことにより売上が増加し、また輸入車販売部門でポルシェ車販売が販売台数を伸ばしたことなどにより、売上高は29億8千5百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

不動産等賃貸事業の売上高は前年同期並みの3千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は177億5千7百万円となり、前連結会計年度末から6億2百万円減少いたしました。

この内、流動資産は85億9千7百万円となり、前連結会計年度末から4億3千6百万円減少いたしました。この主な原因は、現金及び預金の増加7億4百万円、受取手形及び売掛金の減少14億9千7百万円、商品の増加1億1千2百万円及び仕掛品の増加3億4千1百万円です。

固定資産は91億6千万円となり、前連結会計年度末から1億6千6百万円減少いたしました。この主な原因は、投資有価証券の減少1億3千9百万円です。

負債合計は45億7千4百万円となり、前連結会計年度末から5億1千5百万円減少いたしました。この主な原因は、支払手形及び買掛金の減少5億8百万円、賞与引当金の増加2億5百万円です。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末から8千6百万円減少して131億8千3百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月15日付当社「平成20年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便的な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③税金費用の計算方法

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,008,902	2,304,477
受取手形及び売掛金	3,165,436	4,663,419
商品	897,320	784,449
製品	33,010	32,362
原材料	18,723	21,488
仕掛品	1,056,744	715,707
その他	418,121	514,012
貸倒引当金	△978	△2,266
流動資産合計	8,597,280	9,033,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,383,298	2,422,779
土地	3,920,454	3,920,454
その他(純額)	801,347	787,063
有形固定資産合計	7,105,100	7,130,297
無形固定資産	64,139	62,144
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502,056	1,641,466
その他	489,311	493,094
投資その他の資産合計	1,991,367	2,134,561
固定資産合計	9,160,607	9,327,003
資産合計	17,757,887	18,360,654
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,918,993	2,427,950
短期借入金	21,753	43,004
未払法人税等	117,961	185,452
賞与引当金	578,756	373,546
その他	665,728	758,270
流動負債合計	3,303,192	3,788,224
固定負債		
長期借入金	139,918	139,918
退職給付引当金	772,925	755,025
役員退職慰労引当金	94,894	105,046
その他	263,566	302,181
固定負債合計	1,271,304	1,302,170
負債合計	4,574,497	5,090,394

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,000	1,337,000
資本剰余金	1,242,814	1,242,814
利益剰余金	7,924,195	7,906,240
株主資本合計	10,504,010	10,486,054
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	448,605	524,484
評価・換算差額等合計	448,605	524,484
少数株主持分	2,230,774	2,259,720
純資産合計	13,183,390	13,270,259
負債純資産合計	17,757,887	18,360,654

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	5,138,664
売上原価	4,137,651
売上総利益	1,001,012
販売費及び一般管理費	1,091,305
営業損失(△)	△90,292
営業外収益	
受取利息	217
受取配当金	19,644
その他	17,587
営業外収益合計	37,448
営業外費用	
支払利息	1,269
売上割引	6,769
その他	902
営業外費用合計	8,940
経常損失(△)	△61,784
特別利益	
固定資産売却益	439
投資有価証券売却益	198,523
貸倒引当金戻入額	1,288
特別利益合計	200,252
特別損失	
固定資産除却損	11,468
特別損失合計	11,468
税金等調整前四半期純利益	127,000
法人税、住民税及び事業税	80,165
少数株主損失(△)	△13,121
四半期純利益	59,955

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	127,000
減価償却費	112,558
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,288
賞与引当金の増減額(△は減少)	205,210
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,900
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,152
受取利息及び受取配当金	△19,861
固定資産除却損	11,468
投資有価証券売却損益(△は益)	△198,523
売上債権の増減額(△は増加)	1,566,755
たな卸資産の増減額(△は増加)	△394,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△528,148
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,991
その他	31,872
小計	884,517
利息及び配当金の受取額	19,874
利息の支払額	△1,314
法人税等の支払額	△177,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	725,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△146,177
有形固定資産の除却による支出	△8,585
有形固定資産の売却による収入	2,479
投資有価証券の売却による収入	216,349
その他	△6,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	57,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,000
長期借入金の返済による支出	△7,251
配当金の支払額	△39,580
少数株主への配当金の支払額	△18,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	563
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	704,424
現金及び現金同等物の期首残高	2,299,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,003,902

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	産業機械事業 （千円）	冷間鍛造事業 （千円）	電機機器事業 （千円）	車両関係事業 （千円）	不動産等賃貸 事業 （千円）	計（千円）	消去又は全 社（千円）	連結 （千円）
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上 高	520,412	564,439	1,038,249	2,985,559	30,003	5,138,664	—	5,138,664
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	238	—	684	6,056	5,801	12,780	△12,780	—
計	520,650	564,439	1,038,933	2,991,616	35,805	5,151,445	△12,780	5,138,664
営業利益又は営業損失（△）	△56,546	94,493	48,894	△36,142	7,062	57,760	△148,052	△90,292

(注) 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品（商品他）の類似性、共通性により下記の事業に区分しております。

産業機械事業……包装機械関係製品・環境機器

冷間鍛造事業……冷間鍛造製品

電機機器事業……空調機器・冷凍機器・FAシステム機器・電子機器・空調設備設置工事

車両関係事業……自動車販売・産業車両・タイヤ

不動産等賃貸事業……不動産賃貸・レンタカー

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）に、本国以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社はないため記載しておりません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）に、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,708,276
II 売上原価	3,726,318
売上総利益	981,958
III 販売費及び一般管理費	1,081,795
営業損失(△)	△99,836
IV 営業外収益	33,162
1 受取利息	64
2 受取配当金	16,423
3 その他	16,674
V 営業外費用	8,580
1 支払利息	2,443
2 売上割引	6,005
3 その他	131
経常損失(△)	△75,254
VI 特別利益	1,014
貸倒引当金戻入額	1,014
VII 特別損失	525
固定資産除却損	525
税金等調整前四半期純損失(△)	△74,766
法人税、住民税及び事業税	△7,767
法人税等調整額	△8,463
少数株主損失(△)	△32,535
四半期純損失(△)	△25,999